

平成26年度函館市事業評価調書

平成26年5月作成

整理番号	121	事業名	農業用機械等購入資金貸付金		事業の性質別	裁量的経費	区分	
予算事項名	大事項	農業用機械等購入資金貸付金		中事項	農業用機械等購入資金貸付金		部課名	農林水産部農務課
事業開始年度	昭和 47 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館市農業漁業用機械等購入資金貸付条例)		電話番号	21-3342	

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 必要な機械等を購入する資金を市が無利子で貸付けることにより、農業の近代化および経営の合理化を図ることを目的としている。</p> <p>【必要性】 農業の機械化を促進することで、農作業の省力化や効率化、さらには生産性の向上を図り、ひいては農業経営の安定化を図ることが必要である。</p>
内容	<p>農業者が農業用機械等を購入する場合に、その購入金額の80%以内(1人の農業者の上限額700万円)を無利子で貸付ける。償還については、貸付額が100万円以下の場合は5年以内、100万円を超える場合は7年以内での償還(貸付年度は据置)としている。</p>

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	平成25年度決算見込	平成26年度予算	平成27年度予算要求
事業費 (A)		25,903	18,047	18,000	17,997	18,000	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		25,903	18,047	18,000	17,997	18,000	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっても0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.08 637	人工 0.07 526	人工 0.08 579	人工 0.08 579	人工 0.08 583	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	637	526	579	579	583	0
総事業費計(A+B)		26,540	18,573	18,579	18,576	18,583	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
貸付件数	件	15	11	6	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	農業経営の安定
------	---------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	無利子で貸付ることにより、農業者の経済的な負担を軽減し機械化を促進することができる。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明	
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在と変わらない	平成25年度に貸付限度額の引き下げ(1,000万円→700万円)を行いコスト節減に努めている。
				受益者負担の適正度	評価対象外	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	外部委託の可能性	しづらい性質の事業	市税滞納調査を要するため外部委託がしづらい事業である。また、農協組合員については、農協において申請の取りまとめをするなど、実施方法の効率性が図られている。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	
評価結果から明らかになった課題事項など						

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) 平成25年度に貸付限度額の引き下げを行い、コスト節減を図っているが、農業を取り巻く環境が大きく変化していることから、必要に応じて見直しを検討する。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	他都市に類似する事業はない。
----------------------------	----------------